

山口県立下松工業高校

創立90周年特集号

下松工業会報

社団法人 下松工業会
〒744-0012 下松市北斗町12番4号
事務局 下松工業同窓会館
TEL (0833) 43-1336
FAX (0833) 41-7448
URL: <http://www.kudakokai.org>
E-mail: kogyokai@triton.ocn.ne.jp

母校創立九十周年を迎えて

(祝賀会挨拶より)

会長 河村正浩



本日は井川下松市長をはじめ多数のご来賓をお迎えし、下松工業高等学校創立九十周年の祝賀会を開催でき

祝辞

校長 村上正美



社団法人下松工業会の皆様方には、本校教育の発展に多大なご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、この度は本校の創立九十周年にあたり、多くの同窓生の方々の御寄付により記念事業を行っていただき

誠に有難うございます。一つ目の記念事業として硬式野球部のグラウンド整備にあたり、内野に塁土を入れていただき球場のような見違えるグラウンドになりました。太陽の照り返しを防ぎ、選手の目に優しい環境になりました。指導者・選手一同、厳しい練習に励み、是非同窓生の皆様方のご期待に応えられるよう取り組んでまいります。

吹奏楽部は毎年五月に行われる、同窓会の定期総会の開始前に演奏する機会を与えていただいております。様々な活動の場を得、着実に力をつけています。一昨年度、県のコンクール

で金賞を受賞し、中国大会でも金賞に輝きました。また、長い間途切れていた定期演奏会を復活させ、以後、毎年三月下旬に開催しています。楽器の不足や修理に苦心しながら活動してきましたが、この度多くの楽器を寄贈いただき部員一同、心より感謝申し上げます。三月に開催する定期演奏会においていただき、叱咤激励くださいますようお願いいたします。

記念事業の三つ目として、図書館に沢山の蔵書を揃えることができました。本校は、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組むと、平成十四年から「朝の十分間読書」を始め、今年度でちょうど十年目となります。新学習指導要領では、言語活動の充実が求められ、県教委の重点プロジェクトでは、コミュニケーション能力を育む教育が求められています。寄贈図書を大いに活用し、これらの力を習得していきたいと思っております。

記念式と併せて開催した文化祭では、「九十周年なう」というテーマで実施し、生徒の工夫を凝らした取り組みがありました。創立者・久原房之助翁と日立製作所の創設者・小平浪平氏及び「下工弁慶号」のモザイクアートや、同じく久原房之助翁の爪楊枝による壁画製作、久原・小平両氏の木像製作、「久原房之助

全国各地のあらゆる分野において活躍し、下松工業高等学校の名前を高らしめ、素晴らしい伝統と歴史を築いて参りました。これはひとえに、歴代校長先生を始め、諸先生方の情熱溢れるご指導の賜物であります。また、同窓会が社団法人として、今日まで順調に歩んで来られたのは、同窓生はもとより、母校、そして行政を始めとする関係各位のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、私たち同窓会は、これまで社団法人下松工業会として活動して参りました。しかし、法律改正に伴う法人制度改革により、平成二十五年十一月三十日までに、新法人・一般社団法人に移行しなければなりません。そこで、平成二十四年四月一日付けの登記に向け、十一月一日に申請を終えたところです。

従来は会員のための活動が主体であり、その中で学校支援をさせて頂いておりましたが、新法人では公益的事業の推進が活動の要となります。したがって、定款の目的は、「下松工業高校における生徒の資質向上及び教育の振興に向けた支援、並びに会員相互の交流及び啓発を図り、工業高校教育の充実発展に寄与することを目的とする」となりました。

また会員は、これまでは卒業生即ち下松工業会会員でしたが、今後は、「下松工業高校の卒業生であつて、新法人の事業に賛同する者でもって構成する」とになりました。

そこで今後は、下松工業高校同窓会と(一社)下松工業会の両面でもって運営して参ります。その一手段として会報を会員向けと全卒業生向けの年二回発行することになりました。

今後は従来にない厳しい運営が強いられることと思いますが、一人でも多くの卒業生が、本会に賛同して頂きますよう、皆様方ご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後に参りましたが、本九十周年事業に対し多くの方々から募金のご協力を頂きました。お蔭で何とか目標を達成することができました。心から厚く御礼申し上げます。

母校九十周年記念式典

開校九十周年記念の祝賀式典が母校体育館で十一月十八日開かれ、九十二年(大正十年)に県内初の工業学校として創設された輝かしい歴史を祝った。下工は、近代日本の発展に欠くことのできない工業技術者を育てることを目的に下松の地に開設されたもので、久原翁の尽力がなくては実現できなかったと思われる。母校は歴史の中で幾多の変遷を重ね、現在の全日制ではシステム機械科、電子機械科、情報電子科、化学工業科、定時制では機械科を擁し平成十一年より、文部科学省の研究指定校として総合選択制への研究を続けている。式典では、村上校長

が「九十周年を機に本校の歴史と伝統をかみしめて技術力を高め地域社会の発展に寄与したい、百周年に向かって飛躍することを誓う」との式辞を述べ、本会の河村会長は同窓生より寄せられた募金から、文化体育活動助成金として吹奏楽の楽器、図書等及びグラウンド整備等の目録を寄贈した。生徒会長の中川さんは、「技術者として日本のために働き、この伝統を次の世代に伝えていきたい」との決意を披露した。当日、会場の体育館には全校生徒四六五人の顔写真で作成したモザイク画の「下工弁慶号」の巨大壁画が展示されていた。



母校創立九十周年を祝う

十一月二十六日周南市のザ・グラマシーにおいて母校創立九十周年祝賀会が多数の来賓の出席を頂き、盛大に開催された。

会場では下松吹奏楽部の素晴らしい演奏をバックに、柳司会担当の静かによく響く声で開会が宣言された。次いで多くの人命が失われた東日本大震災で犠牲になられた人々と、本会の物故された先輩方を悼み黙祷を行なった。主催者挨拶

で、河村会長は、母校設立の大家である久原翁の遺徳に想いを馳せると共に、歴代校長先生をはじめ諸先生方への感謝の気持ちが述べられた。又、法律改正に伴う法人制度改革により新法人・一般社団法人へ移行するため、従来の会員相互の活動主体が、今後は公益的事業推進を主目的にするとの説明がなされた。来賓諸氏を代表して井川下松市長、母校村上校長の祝辞が

あり、かつての懐かしい歴代の校長先生方を拝見することができた。

表彰式は、表彰委員会を選出された五支部に優秀賞、優良賞十二支部、感謝状三名、一社にそれぞれ贈呈された。本祝賀会でのサプライズとして、日立笠戸支部鳴川氏より「下松弁慶号」の油絵が寄贈され披露された、メインイベントの懇親会は、有間先輩の元氣溢れる発声で乾杯の後、卒

年次順に並んだ各テーブルでは懇親の花が咲いていた。アトラクションでは、こんな透明な音がオカリナで出せるのかと驚嘆の江村先輩の吹奏術に堪能した後は、年齢を感じさせない声楽家山崎さんの美声に、酔わされてしまった。懇親の宴は過ぎゆく光陰の如く瞬く間に中締め時刻に至り、校歌斉唱、万歳三唱となり、宝迫先輩の気迫ある高吟の三唱に、驚かされた。今祝賀会の出席者は、総数一九四名で遠路関東の地より参加頂いた先輩もあり、本祝賀会担当の行事企画委員会一同感激の極みでした。



吹奏楽部謝辞



受付スタッフ



吹奏楽部演奏



河村会長挨拶



井川市長祝辞



絵画贈呈



表彰式



村上校長祝辞



アトラクション



アトラクション



表彰式



乾杯



司会

わが母校への郷愁

C16 深町和彦

昭和十二年四月八日、憧れの下松入学式を終え、新入生八十人が一人ひとり別室に呼ばれ、正来遊方校長の面接を受けた。私への問いは、「佐久間艇長の死をどう思うか」だった。この頃から世界の国際情勢は日ごとに緊迫感が高まっていた。登下校の服装は背のうに巻脚半、行き交う先生、上級生には拳手の敬礼で挨拶し、上下の規律は厳しかった。この年の七月七日、日中戦争が勃発し、南京や武漢三鎮を攻略したときは、ちようちん行列で祝った。

床や廊下を油脂で仕上げた緑の校舎では、修身、漢文、三角、化学などを習い、周期律表を暗記させられた。実習室では測定下限千分の一グラムの化学天秤による分析に緊張した。外では三八銃を肩に教練、勤務奉仕活動、学校林作業に励んだ。全校マラソン、仮装

運動会、体力章検定、歩行会、修養道場、弁慶号走行、竹たんかづくり、武装団体競争、教練査閲、連合演習等々にも思いは深い。

昭和十六年十二月八日、日本は真珠湾を奇襲、ついに太平洋戦争に突入。戦局はなだれを打って拡大していった。この年から実業学校は繰り上げ卒業となり、私たちも十二月二十七日、わが師の恩と七彩匂うを大合唱し、十中八九会うことはないだろう級友と再会を誓って校門を出た。私は日本石油に就職し、航空潤滑油の改善研究の補助員とし

て働いた。昭和十九年から徴兵検査は一年早くなり、私は高射砲兵として出征、下関市の巖流島での訓練を経て、長府の陣地で長い長い戦争を終え、生きて帰ることが出来た。

昭和二十一年から十六年間校長を務められた太田胤正先生に、入学から卒業まで学級担任として指導を受けた学究生活は、まさに激動の四年八月月だった。下松創立九十周年、私の卒業七十周年に米寿を迎えた今、改めて母校への感慨をかみしめている。

忘れられない母校の思い出

C18 亀田成文

私は入学式の時新入生代表として宣誓をいたしました。小さくて前から二番目でした。祖母が島田の舊家の離れを借りて二年間私を通学させてくれました。三年になつて寄宿舎に入りました。私は平生町佐賀の出身でして海辺に近い所でした。寄宿舎では同級生の仙崎が夜遅くまで勉強していたのには驚きました。その仙崎は山口高校、東大と進み将来を属望されていましたが東大に進み肺結核で亡くなりました。残念でたまりません。一年生の時豪放な江本氏、斉藤氏がいて応援歌の練習にスタンドに集められた事が思い出されます。

す。同級生の田村が一年からピッチャーとして國漢の松尾先生(國学院大学で捕手)に鍛えられたのでありますがコントロールが悪く球が高めに浮いて駄目でした。田村も亡くなりました。学校で化学の授業が面白かったです。周期表を覚え込まれました。或る時にはジャンバルジャンの話もしてくれました。服部太一先生は忘れられませんが。私は野球が好きで野球

の応援には何時も行きました。しかし柳井商業の斉藤のドロップが打てなくてががしい思いをしました。昔は工業学校が少なくて入学するのは大変でしたが今は沢山工業学校が出来て入学がしやすくなっています。昔は下松工業に入学出来たことを誇りに思っていました。私は父が僧侶でしたので立正大学に行つて高林寺住職になっています。

わたしの歩んだ人生

M28 小川 莊六

幼少年期を下関で過ごし、各地の旧制中学と新制高校を転々とした。下松に来て、有名な伝統校、ななをを知り入学、実りある高校生活を経て東ソーに就職をした。会社本體での仕事は八年だけ、三十歳で書記長に抜擢され労働運動一筋の道を歩んでいった。

当時は原燃料転換と産業近代化が進む中、技術革新による合理化への対応と欧米並み賃金獲得が課題だった。労使間の対立も激しく、産業別統一闘争と自主性との使い分けには、神経を使ったものである。

山口県労評の議長時代は、県労働行政とも連携して、労働組合の市民権確立に尽力したが、労働者福祉運動の促進で社会的貢献は果たせたと思っている。

連合山口会長から労金理事長に、県行政委員会の各種委員を務め六十一歳になつて『藍綬褒章』を受章、受章者を代表して天皇にお礼の言葉を奏上する名誉も得た。七十歳で県収用委員

会会長の要職に就くなど、恐縮の極みと言わざるを得ない名誉の数々を頂いた。これもみなさんの支えと「下松マン」の誇りがあつたからこそ、感謝の言葉を送っている次第である。どうも自慢話になった感じが、ご容赦をお願いさせて頂く。





万歳三唱

校歌斉唱

母校での思い出

M 47 谷村直隆

創立九十年を盛大に迎えられる誠におめでとうございます。記念に一筆寄せさせていただきます。

私が在学した昭和四十年代には彩沢寮という寄宿舎がありました。そこは十五

才過ぎて親元を離れたばかりの私には想像もつかぬ程規律の厳しい場所でした。先輩から短期間で色々教え込まれ、四十年経った現在でも寮はよく覚えていますが。又時には教育と称し

在校生の皆様には学業は元より、チャレンジ精神を大いに養っていただき、大きく羽ばたかれるのを期待しています。

最後に学校関係者並びに下松工業会役員様の日頃のご尽力に敬意を表したいと思います。

山松工永遠なり!!

(新聞販売業)

ハンドボール部初優勝の思い出

M 57 青木義雄

下松工業ハンドボール部は今や高校ハンドボール界においてインターハイ優勝三回を誇り、数々の国体優勝に主力選手を送り出すなど全国屈指の名門校となりました。その最初の全国制

覇は昭和五十六年東京インターハイで当時、監督は名将譽れ高い星井直先生でした。

昭和三十八年山口国体で徳山高校男女優勝に導いた手腕は下松工業でも存分に

準決勝で延長戦の大接戦の末、惜敗しており、チーム全体に必ず雪辱するという強い意識が勝利を呼び込んだのだと思います。あれから三十年が経ちました。決勝戦は運良くNHKで全国放送され星井監督を胸上げできたことも忘れられない思い出です。

私の歩んだ道から、後輩諸君への伝言

E 61 高松勇雄

私の四十四年間の人生を振り返ってみると、そこそこおもしろい。高校へは進学せず海外青年協力隊に行くといい続けていた中学生時代。高校に入学しても、JRC青年赤十字や子ども会ジュニアリー

ダー、福祉ボランティア等々勉強そっちのけでボランティア活動に明け暮れていた。今でも当時の恩師や仲間とは付き合いをさせて頂いている。子ども会・青年団や自然の家のカウンセラー・障害福祉関係等

様々なボランティア活動を通じて気づかされた事の一つに、ボランティアでは補完や解決できない現実があるという事がある。制度や法律等を変えなければいくらか活動がガンバっても状況は改善されない。それを変えていくのは政治であると考え、郵便局員を退職。三度目の選挙で周南市市議会議員当選。一議員では

中々理想の社会へと導く事はできないが同志と共に実現に向けて努力の日々だ。

ここで、後輩諸君にメッセージを贈りたい。「夢を持って一度や二度の失敗で夢を諦めるな! 夢は必ず叶うのだ!」。そして「誰の為でもなく、己の為にしっかりと勉強しろ!」将来諸君の人生で役立つ日が必ずくるから!

出会い

M H 20 廣實佳祐

先日下工OB会より作文依頼がありました。思わず「え...うそじゃろお」の一言でした。昔から国語で成績「3」しか獲ったことがない私なので、誤った文法があると思います。暖かい目で読んでやってください。社会人になって、あつと

いう間に四年が過ぎようとしています。学生時代特有の走り回りたい感情も徐々に収まりつつあり、仕事やプライベートも非常に充実してきました。たまにクラスメイトや部活仲間と遊んだり、飲み会したりしていますが、その度に学校生活

を思い出して「やっぱ学生に戻りたいよね。でも体育は無しがいいけど。(笑)」と話します。戻りたいと言える程の、最高に居心地抜群の場所だったかのよう感じます。しかし体育は2km走がキツかったことと、妙なブレッシャーしかなかったもので、もういいかなと思います。

在学中は、怒られた事、きつかった事、たくさんありましたが、それ以上に良い仲間、先生、先輩、後輩に出会うことができ、良い思い出も数えきれない程出ました。また、現在、自分特技である弓道にも出会うことが出来ました。これらの「出会い」は何かの縁であり、一生の財産であると心底から感じています。これからも母校で得たものを大事にし、自分の道を一步一步進んでいきたいと思っています。

成績

順位	卒年	氏名	グロス	ネット
優勝1位賞	C39	守田 秀昭	79	70.60
準優勝2位賞	T43	渡辺 孝之	86	71.60
3位賞	C40	中川 睦男	86	72.80
4位賞	C60	秋本 昌彦	96	73.20
5位賞	M33	西村 和徳	95	73.40
6位賞	M48	池内 昇	83	73.40
7位賞	C40	河野 寿夫	88	73.60
8位賞	代理	石井 三郎	105	73.80
9位賞	M36	清水 純治	93	73.80
10位賞	M33	渡邊 勲	92	74.00
11	C39	飯田 輝義	92	74.00
12	C50	梅本 郁男	92	74.00
第13位賞	M30	小林 孝爾	97	74.20
14	C39	大浦 義明	85	74.20
第15位賞	CH10	池 正文	90	74.40
16	M34	半田 明宏	89	74.60
17	C34	野田 泰典	106	74.80
第18位賞	M36	小松 祐一郎	100	74.80
19	C39	岡本 保夫	111	75.00
第20位賞	E47	河野 谷 功	98	75.20
21	M33	河崎 晃	97	75.40
22	代理	岡本 文朝	91	75.40
第23位賞	C32	小林 勝	96	75.60
24	M33	西村 定司	89	75.80
第25位賞	M34	家永 晴夫	95	75.80
26	M23	河野 知敏	100	76.00
27	C39	植中 新太郎	88	76.00
第28位賞	C40	松本 敦	94	76.00
第29位賞 フクヤ賞	M60	鎌田 健二	94	76.00
第30位賞	M32	斎藤 正行	99	76.20
31	M36	山本 和男	93	76.20
32	C32	山本 俊男	92	76.40
第33位賞	M36	妹尾 恒倫	98	76.40
第34位賞 (野田前会長)	C39	仁科 昭行	92	76.40
第35位賞	C60	河村 宏幸	104	76.40
36	C41	野上 久	91	76.60
37	M36	宮田 健一	103	76.60
第38位賞	M35	田村 圭史郎	102	76.80
第39位賞 (河村会長賞)	C40	小林 孝二	102	76.80
第40位賞	E49	内山 和美	96	76.80
41	M33	兼清 昇	101	77.00
42	E45	弘中 隆	83	77.00
第43位賞	SH7	三崎 良英	107	77.00
44	C32	坂本 嗣昭	106	77.20
第45位賞	M34	宮川 豊	99	77.40
46	C40	尾尻 友昭	93	77.40
47	M33	弘中 義秋	98	77.60
第48位賞	E41	神杉 常夫	84	78.00
49	M34	棟安 紘一	113	78.20
第50位賞	C39	神崎 聡	100	78.40
51	C33	山根 利明	98	78.80
52	M44	岩村 修	109	79.00
第53位賞	C47	山本 泉	114	79.20
54	M36	三原 一彦	106	79.60
第55位賞	M61	古賀 正信	99	79.80
56	E60	西村 圭二	98	80.00
57	M24	兼平 敦登	103	80.20
第58位賞	M35	槌尾 博之	103	80.20
59	C39	伊藤 算啓	97	80.20
第60位賞	C39	大田 六郎	106	80.80
61	M55	石川 正利	92	81.20
62	C43	片山 行晴	103	81.40
第63位賞	C40	酒井 光正	108	81.60
64	M33	嶋本 幸雄	113	81.80
第65位賞	M33	棟居 長年	112	82.00
66	C39	山本 邦雄	118	82.00
67	C39	藤田 文明	106	82.00
第68位賞	CH4	由井 真男	118	82.00
69	MH1	大濱 克佳	99	82.00
第70位賞	M28	小川 荘六	110	82.40
71	M44	蔵田 幸男	119	83.00
72	M51	日置 順治	122	86.00
第73位賞	M48	徳原 英昭	123	87.00
ブービー賞 (74位賞)	C41	赤道 稔	124	88.00
最下位で賞 (75位)	M33	中村 盛男	135	99.00

母校創立90周年

記念ゴルフ大会

日時 二〇一二年十一月二十五日(金)

場所 中須ゴルフ倶楽部

九十周年記念ゴルフ大会を終えて

平成二十三年十一月二十五日(金曜日)中須ゴルフ倶楽部にてアウト・イン各十組七十五名の参加にて開催いたしました。当初は十月五日(水曜日)に行う予定でしたが、大雨の為延期させていただきました。ご連絡等でご迷惑をおかけいたしました。ご記念祝賀会の前日に延期してよかったですと思います。

天気も良く、参加された方も好プレー、珍プレー続出で楽しまれましたが、プレー終了後表彰式もありますので、特にスロープレーにはご注意ください。九十周年記念ゴルフ大会として開催いたしました。多くの会員に参加頂きありがとうございました。



河村会長から優勝者C39守田氏に記念品贈呈

義援金御礼

祝賀会会場で「東日本大震災義援金」の募金をお願い致しました。皆様方から暖かい浄財三四、九六四円を、お寄せ頂きました。この義援金は、十二月二十八日河村会長、早川副会長、槌尾専務理事で井川下松市長を訪問し、当会より募金を加えて五万円にして寄託させて頂きました。井川市長より「ここからの義援金に対し、御礼申し上げます」と共に深く感謝致しております」との謝意がありました。

左から槌尾専務理事、河村会長、井川市長、早川副会長

お知らせ (今後の行事)

- 麻雀大会 二月五日(日) 工業会館3F
- ボウリング大会 三月六日(火) くだまつスポーツセンター
- 記念講演会 三月二十七日(火) スターピアカだまつ大ホール
- 定時総会 五月十九日(土)

※詳しくは事務局に問合せ下さい。

編集後記

母校創立九十周年の記念祝賀会は、会員諸氏のご協力、ご支援により無事挙行することができました。紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。ご支援頂きました方々へ感謝の意をこめて、お名前全てを掲載したいの思いから、この様な紙面構成としております。創立九十周年は、人生で申せば「半寿」であり四世代から五世代にかかる歴史です。しかも、途中に太平洋戦争という壮絶な時代を是さみ、戦後の困難を乗り越えて、「ものづくり」の技術者育成に邁進されてきたことは、諸先生方、諸先輩方々の努力と汗の結晶です。歴史のうえに未来を創りさらに次代へ伝える、これが創立時から地域の技術リーダー育成を使命とされた、母校の役割ではないでしょうか。とはいえ時代の変遷につれ、状況は様々に変化します。次の創立百年はどんな姿で迎えるのでしょうか。夢と希望に期待をこめて待ちましょう。

広報HP委員会

母校創立90周年 記念講演会 入場無料 のご案内

JAXA宇宙飛行士 講演会を開催

■とき 平成二十四年三月二十七日(火) 十四時~十五時三十分

■ところ 下松市スターピア大ホール

JAXA(宇宙航空研究開発機構)の国際宇宙ステーション(ISS)搭乗宇宙飛行士候補者の金井宣茂氏の講演会を開催する。金井宇宙飛行士は一九七六年千葉県生まれ、二〇〇二年防衛医科大学校医学科卒業・自衛隊入隊、病院勤務の後、二〇〇九年JAXA入社、ISS搭乗飛行士訓練を受け、ISS搭乗の宇宙飛行士に認定、今後NASA(アメリカ航空宇宙局米国)での訓練を重ね知識・技能の習得に励む。